

研修会報告

平成 29 年 11 月 26 日

文責：東北医科薬科大学病院 佐藤 正樹

研修会テーマ 病理細胞診部門 細胞検査士資格認定試験二次試験対策研修会

開催日時 平成 29 年 11 月 25 日（土）9：00～16：00

会場 宮城県対がん協会 多目的室

司会：大崎市民病院 戸村弘樹

9:00～12:00 「二次試験対策（スクリーニング、同定）」

13:00～16:00 「問題解説」

生涯教育点数 専門 20 点

参加者 会員参加者 3 名 非会員参加者 3 名 実務委員（講師）11 名 計 17 名

内容

今回は病理細胞診部門 「細胞検査士資格認定試験二次試験対策研修会」と題し、宮城県内の受験予定者を中心に細胞検査士認定試験の二次試験対策研修会を行った。企画側も手探りの研修会であり、県外からの受講者などの申し込みも予測できなかったため定員 10 名と限定したが結果的に宮城県から 5 名、山形県から 1 名、計 6 名の受講者となった。

試験問題は学術部員や県内の複数施設に要請をして全 5 施設から持ち寄ってもらった。会場の宮城県対がん協会から顕微鏡 8 台を拝借した。

午前中は実際の試験形式で、途中 10 分の休憩を入れてのスクリーニング試験(一問 5 分)30 題、同定試験 36 題(一問 1 分)を行い、試験終了後に自己採点形式で答え合わせを行った。昼食後、午後は問題解説形式でなく、受講者が各自で標本の見直しや疑問点などを講師に質問する形式とした。

試験対策研修会という通常の研修会とは異なる企画で会場や問題の準備など手探り状態であったが、環境や提供された問題はどれも良質であった。問題解説も通常の講義形式とは異なり、鏡検しながらマンツーマン、時には複数の講師から受講者個人の疑問を解説する形式であったため、受講者の満足度は高かったと考える。我々講師も普段なんとなく鑑別している症例をロジカルに解説をしなくてはならない難しさを感じ、自分の力不足をそれぞれに感じた研修会となった。

また、これから研修会を続けていくにあたって複数の顕微鏡を使用可能な会場や問題となる標本の提供、解説していただける施設を探さなくてはならない課題も残った。

研修会を通じて施設間や世代間の交流を図り次の世代の育成や情報交換などを円滑に行える環境を整えることを目的の一つとした。これからこの企画を続けていくことで将来、試験に合格した受講者が協力して下の世代へ知識を伝えていく研修会になれば幸いと考え

る。